

「住みやすさ、地域への愛着についての満足意識」 に関するアンケート実施報告

「住みやすさ、地域への愛着についての満足意識」に関するアンケートの実施結果を
下記のとおりご報告いたします。

アンケートにご協力いただきましたe-モニターの皆さまに厚くお礼を申し上げます。

なお、アンケートの内容及び回答集計については、

e-モニターのホームページ（下記リンク先）をご覧ください。

<http://www.e-kocho.pref.mie.jp/monitor/index.html?a=top;result&id=71>

アンケート概要

アンケート実施期間

平成22年2月15日から平成22年3月12日まで

意見募集の結果（ ）書きは前回調査分【平成21年4月15日から平成21年4月30日まで】

回答者数 969名（1,133名）

対象者数 1,502名（1,598名）

回答率 64.5%（70.9%）

回答者属性

性別 【男性】528人 54.5% 【女性】441人 45.5%

年代別回答率

年代	【20代】	【30代】	【40代】	【50代】	【60代】	【70代以上】
回答者数	83名	211名	254名	224名	137名	60名
対象者数	202名	351名	367名	308名	194名	80名
回答率 (前回)	41.1% (68.2%)	60.1% (75.6%)	69.2% (67.7%)	72.7% (71.6%)	70.6% (70.7%)	75.0% (69.4%)

地域別回答率

地域	【北勢】	【伊賀】	【中南勢】	【伊勢志摩】	【東紀州】
回答者数	443名	84名	267名	140名	35名
対象者数	626名	153名	425名	239名	59名
回答率 (前回)	70.8% (71.5%)	54.9% (67.5%)	62.8% (70.1%)	58.6% (73.7%)	59.3% (69.2%)

産業・業種別回答率

産業・業種別	回答者数	対象者数	回答率（前回）
農林漁業	15名	27名	55.6%（69.0%）
製造業	150名	232名	64.7%（69.8%）
商業・サービス業	167名	256名	65.2%（67.4%）
建設・不動産業	57名	93名	61.3%（71.3%）
運輸・通信業	37名	55名	67.3%（75.4%）
金融・保険関係	27名	39名	69.2%（61.7%）
医療・福祉関係	49名	100名	49.0%（66.0%）
教育・保育関係	38名	65名	58.5%（72.1%）
公務員	46名	67名	68.7%（67.6%）
学生	18名	38名	47.4%（52.3%）
無職	245名	347名	70.6%（79.9%）
その他	120名	183名	65.6%（68.9%）

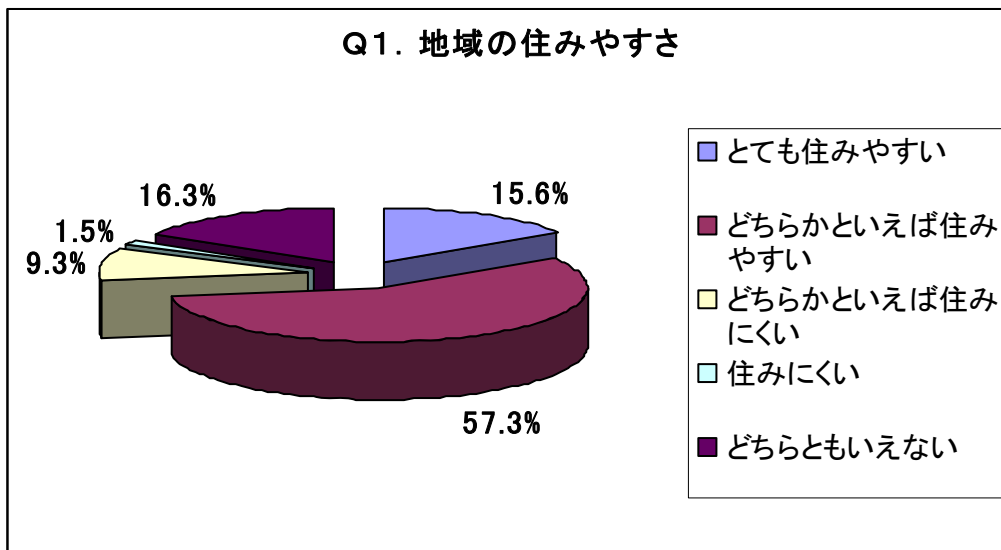
アンケート結果を受けて

設問1 地域の住みやすさ

現在お住まいの地域について、「とても住みやすい」が15.6%（前回17.7%）、「どちらかといえば住みやすい」が57.3%（同54.4%）と「住みやすい」とお答えいただいた方が72.9%（同72.1%）でした。

また、「どちらかといえば住みにくい」が9.3%（同10.5%）、「住みにくい」が1.5%（同2.0%）と「住みにくい」とお答えいただいた方が10.8%（同12.5%）でした。

なお、「どちらともいえない」とお答えいただいた方は16.3%（同15.4%）となっています。



設問2 住みやすいと感じる点

住みやすいと感じている方が満足していると考える部分については、「きれいな空気」が12.4%と最も多く、次いで「自然環境との共生」(12.0%)、「公共交通機関」(8.4%)の順となっており、これら3つの項目が他と比較して多くなっています。

上位8項目の内、「医療体制」「防犯」「食の安全」の安全・安心が3項目、「きれいな空気」「自然環境との共生」の自然環境が2項目、「公共交通機関」「道路の整備」の交通面が2項目あげられています。

	今回調査	前回調査
1位	きれいな空気 (12.4%)	自然環境との共生 (11.9%)
2位	自然環境との共生 (12.0%)	きれいな空気 (11.7%)
3位	公共交通機関 (8.4%)	公共交通機関 (8.5%)
4位	子育て環境 (6.6%)	子育て環境 (5.9%)
5位	医療体制 (5.2%)	医療体制 (5.5%)
6位	道路の整備 (5.0%)	防犯 (4.9%)
7位	防犯 (4.4%)	高速交通網 (4.0%)
8位	食の安全 (4.0%)	飲料水の供給 (4.0%)

設問3 住みにくいと感じる点

住みにくいと感じる方が不足していると考える部分については、「公共交通機関」が12.9%と最も多く、次いで「医療体制」11.8%、「雇用」(7.7%)の順となっており、これら3つの項目が他と比較して多くなっています。これらに次ぐものとしては、「道路の整備」(5.4%)、「防犯」(5.2%)などがあげられていますが、「公共交通機関」「医療体制」「雇用」の上位3項目以外で不足していると考える部分については、大きな違いはありませんでした。

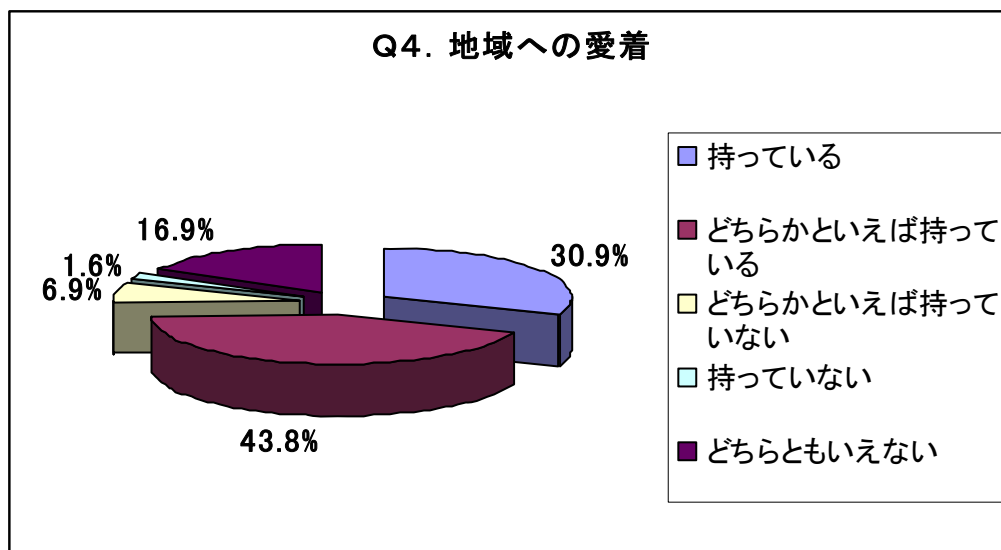
	今回調査	前回調査
1位	公共交通機関 (12.9%)	公共交通機関 (19.1%)
2位	医療体制 (11.8%)	医療体制 (12.5%)
3位	雇用 (7.7%)	交通安全 (5.7%)
4位	道路の整備 (5.4%)	道路の整備 (5.7%)
5位	防犯 (5.2%)	雇用 (5.4%)
6位	子育て環境 (4.5%)	快適なまちづくり (4.1%)
7位	快適なまちづくり (3.9%)	文化・芸術 (3.8%)

設問4 地域への愛着

現在、地域への愛着について、「持っている」が30.9%（前回34.8%）、「どちらかといえば持っている」が43.8%（同39.1%）と「持っている」とお答えいただいた方が74.7%（同73.9%）でした。

また、「どちらかといえば持っていない」が6.9%（同4.1%）、「持っていない」が1.6%（同1.9%）と「持っていない」とお答えいただいた方が8.4%でした。

なお、「どちらともいえない」とお答えいただいた方は16.9%（同20.1%）となっています。



設問5 愛着を持っていると感じる点

愛着を持っていると感じる方が満足していると考えられる部分については、「きれいな空気」が12.1%と最も多く、次いで「自然環境との共生」（11.8%）の順となっており、これら2つの項目が他と比較して多くなっています。

これらに次ぐものとしては、「川や海の水質」（4.9%）、「子育て環境」（4.9%）などがあげられていますが、「きれいな空気」「自然環境との共生」の上位2項目以外で不足していると考えられる部分については、大きな違いはありませんでした。

	今回調査	前回調査
1位	きれいな空気（12.1%）	きれいな空気（11.3%）
2位	自然環境との共生（11.8%）	自然環境との共生（11.0%）
3位	川や海の水質（4.9%）	川や海の水質（5.2%）
4位	子育て環境（4.9%）	子育て環境（5.1%）
5位	歴史・文化遺産（4.6%）	歴史・文化遺産（4.6%）
6位	公共交通機関（4.3%）	食の安全（4.0%）
7位	食の安全（3.5%） 医療体制（3.5%）	快適なまちづくり（3.8%）

設問6 愛着を持ってないと感じる点

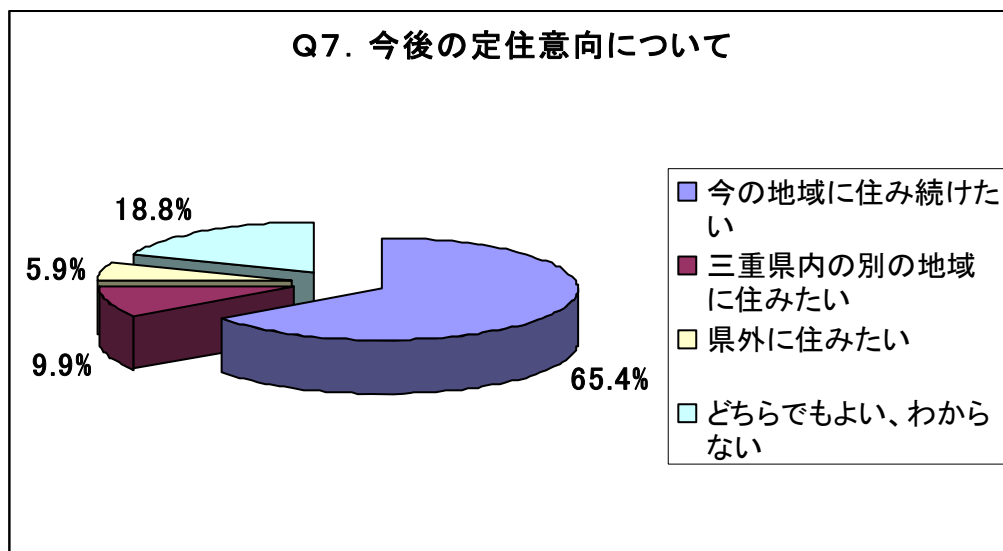
愛着を持ってないと感じる方が不足していると考えられる部分については、「公共交通機関」が7.8%と最も多く、次いで「医療体制」(7.6%)、「道路の整備」(7.1%)となっており、これら3つの項目が他と比較して多くなっています。

これらに次ぐものとしては、「快適なまちづくり」(5.7%)、「子育て環境」(5.2%)、「雇用」(5.2%)などがあげられていますが、「公共交通機関」「医療体制」「道路の整備」の上位3項目以外で不足していると考えられる部分については、大きな違いはありませんでした。

	今回調査	前回調査
1位	公共交通機関 (7.8%)	快適なまちづくり (7.5%)
2位	医療体制 (7.6%)	公共交通機関 (6.9%)
3位	道路の整備 (7.1%)	医療体制 (5.9%)
4位	快適なまちづくり (5.7%)	きれいな空気 (4.9%)
5位	子育て環境 (5.2%) 雇用 (5.2%)	学校教育 (4.3%)
		子育て環境 (4.3%)
7位	人権尊重 (3.3%) 防犯 (3.3%)	交通安全 (3.9%)

設問7 今後の定住意向について

「今の地域に住み続けたい」と答えた方の割合は65.4% (前回64.1%)、「三重県内の別の地域に住みたい」と答えた方の割合は9.9% (同9.2%)、「県外に住みたい」が5.9% (同5.3%)、「どちらでもよい、わからない」が18.8% (同21.4%) となっています。



設問8 「美（うま）し国おこし・三重」の認知度について

「美（うま）し国おこし・三重」の取組について、「取組の内容を知っている」が27.9%（前回23.9%）、「あまり知らない」が60.8%（同59.8%）、「知らない」が11.3%（同16.2%）となっています。

